

第1回守口市市民協働推進会議 会議要録

平成26年8月29日(金)

午後6時30分から

教育文化会館3階第2集会室

出席者
<p>【委員】 直田春夫委員、久保由加里委員、樋口ミツ子委員、伏井不二子委員、竹内美喜枝委員、谷口伸行委員、平野雄士委員、長谷川敦子委員、柴山慶子委員、助川勝彦委員</p> <p>【事務局】 (市民生活部) 部長 神野浩一 (コミュニティ推進課) 課長 西口昭彦、 課長代理 飯島知道、大路浩文、北野修一</p>
会議要録
<p>【開会】</p> <ul style="list-style-type: none">○神野部長挨拶○仮会長選出○委員・事務局紹介○推進会議設置目的○配付資料確認○会議の成立
<p>【議題1】 会長及び副会長の選出</p> <p>○委員の互選により直田委員が会長に、久保委員が副会長に選出された。</p>
<p>【議題2】 諮問について</p> <p>○会長へ諮問</p>
<p>【議題3】 会議の公開について</p> <p>○事務局：市民協働推進会議は、市民に開かれた場であることが重要であると考えているため、できる限り、傍聴や公開をしていくことが大切であると考えている。しかし、提案事業の選定に支障をきたすおそれがあることから、制度設計に係る会議である第3回推進会議までを傍聴可としたい。</p> <p>○会長：異論がないようですのでそのように取りはからう。</p> <p>○会長：会議録の作成と公開について、発言者氏名を伏せた要点筆記としてよろしいか。</p> <p>○会長：異論がないようですのでそのように取りはからう。</p>

【議題4】 会議の進め方について

- 事務局：本日の会議を含め3回で協働を推進していく制度の具体的な内容を諮っていただき、4回目の会議で応募された事業について審議していただくという流れを想定している。
- 会長：異論がないようですのでそのように取りはからう。

【議題5】 守口市公募型協働事業提案制度（案）について

- 事務局：資料「守口市公募型協働事業提案制度（案）」に沿って説明
- 会長：平成26年3月に策定された「守口市市民協働指針」の28頁に「公募型提案事業の助成制度の創設」と記載されている。こちらをこれからしていこうというもの。指針が出来てすぐ制度を設計するというのは前向きですごくいいこと。ただ、本年度より提案制度を実施していくということで、本年度はすごくタイトなスケジュールになる。しかし、こういった事業は、無理を承知であろうと、まずは何かを動かしていかないと進んでいかないとやる面もある。よって、少し前のめりな形にはなるが、本年度から取り組んでいこうというもの。
この事業は、あくまで提案事業であり補助金事業ではない。行政と協働することで、事業の効果をより強く得られるといった制度であることを念頭におき考えたい。
また、行政との協働であることから、地域を特定しないなど公平性の観点も大切。
- 会長：では、一人ずつ自己紹介とこの事業提案制度への意見をお願いしたい。
- 委員：市職員である。現在の応募要項（案）ではどの様な内容の事業を提案して良いものかがわかりにくいように思う。
- 委員：守口市民で、福祉関係のNPO法人に勤務している。
このような申請は、必要書類が多く申請を躊躇してしまうところがある。出来るだけ簡素化出来ればと思う。活発な団体ほど忙しい。
- 委員：子育て支援センターに勤務している。
講座一つ決めるにも市の事業はすごく時間がかかる。もどかしい。そういった点もうまく出来ればと思う。
- 委員：市民協働指針策定委員として関わらせていただいた。その時の経験をこの制度策定にも活かしていきたい。
- 委員：守口門真商工会議所からの推薦。
商店街などでもいろいろな事業が行われているが、実績をあげるためだけにイベントを実施するというものも多い。そうではなく、隣の人と顔を合わせてできる事業が出来れば、どんどん顔が繋がっていき、コミュニティの強化に繋がるような事業が出来ればと思う。

- 委員：守口市社会福祉協議会からの推薦。
これからしていかなければならないこともたくさんある。これから事業をしていこうといった提案でも受けていきたい。市で一つや二つの採択ではなく、より多くの提案を採択していきたいと思う。
- 委員：守口市婦人団体連合協議会からの推薦。
指定テーマ型は、まだ提案出来ると思えるが、自由テーマ型はどういったものかわからないため申請が出にくいと思う。例を紹介するなど出来るだけわかりやすく説明し、様々な団体が提案することの出来るものにした
- 委員：守口市エイフボランタリーネットワークからの推薦。
市と協働して福祉・医療・環境の分野で活動している。これからも市と協働での活動を続けて行っていきたい。
- 副会長：大阪国際大学短期大学部からの推薦。専門は観光。
守口市の資源を認識し、また、日頃市民の皆様が感じている課題などを加味しながら、持続可能な方法でまちづくりを行っていけるものになればと思う。
- 会長：ありがとうございました。様々な方面で日々活動されている方がおられる。どの方面においても、普段から課題を意識しているか否かで大きく変わってくる。課題を認識するということがとても大切になっていると考えている。そして、一人で抱えるのではなく、課題の意味を共有することが大切だと考える。
- 会長：では、改めて、協働事業提案制度を実施していくにあたり、現在の案よりもっとこうの方が良いといった補足意見等あればお願いします。
- 委員：事業提案を募集すれば、全国の市町村共通の課題に関する提案もあれば、守口市特有の課題に関する提案も出てくると思う。その中で、どの事業を採択していくかに際して、守口市としての優先順位を示して頂きたいと思う。優先する事業分野がわかると判断しやすいと思う。
- 会長：第5次守口市総合基本計画で謳われていることが優先するものになってくるかと思う。また、行政提案としてあがってくるものも直面している課題であると言えるだろう。
- 会長：他に意見は。
- 委員：何らかの活動をしている方は誰かと繋がっている人。誰かと関わっている人は様々な手当の申請なども行うことが出来る。しかし、孤立している人にとっては難しい。そういった方をくみ上げていけるような仕組みが必要だと日々考えている。
- 会長：協働の仕組みとして、そのような課題を解決していけるように考える事

も大切だろう。孤立している人をつなぐ役目として中間支援組織的なものが必要になってくるかもしれない。

○委員：子育てに関する講座などをみていると、同じ悩みをもつお母さん同士知り合って、話が出来てよかったという声が多いように感じる。

○会長：ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

○委員：守口では毎年守口市駅前のカナディアンスクエアに七夕の飾り付けをしている。実は、今年その七夕飾りにいたずらをされた。初めてのことであったがとても残念であった。昔のように地域のみんが地域の子どもたちのことを知っていて、地域で子どもを育てるといったことが必要なのではないかと思う。

昔は、学校の体育館で地域の親子が集まり映画を観るといったことがあり、地域の人が知り合う機会があった。そのような機会は大切だと考えているので、商店街で行いたいと考えている。

○会長：他にありますか。

(意見なし)

○事務局：会長、次回に向けて検討していただきたいことがあります。よろしいでしょうか。

○会長：はい。

○事務局：他市では、複数年度にまたがる提案を募集しているところもあるため、本市においては単年度の提案のみとするか、複数年度にまたがる提案も募集するか、その取り扱いを考えたい。

複数年度の提案を実施するとなれば、中間ヒアリングを実施するなど、実行に当たり考えていかなければならないことも生じるかと思う。また、逆に単年度事業として実施したものであっても、経常的に事業を展開していきたいというものが生じることも考えられる。

さらに、他市の例を拝見すると、提案制度で始った事業のその後がわからないことが多く感じた。その点についても検討して頂ければと思う。

以上のことを次回の議題に入れて頂ければ有り難い。

○会長：では、そちらについても次回検討する。複数年度実施する場合、初年度以後は選定委員会を介さず、団体と担当課が直接交渉してやられているところも多い。いろいろなパターンがあるので次回検討したい。

○事務局：次回、第2回推進会議は、9月22日(月)守口市役所1号別館3階の第2委員会室にて行います。

また、第3回推進会議は、10月10日(金)に行います。よろしくお願

いたします。

○会長：新しい仕組みをつくっていきますので、難しい面もございますが、次回の会議で検討できるようによろしくお願いいたします。

本日の会議は以上です。

【閉会】